

10インチポータブルDVDプレーヤー

With Wifiレシーバ

Wizz WDH-104

取扱説明書

目次

使用上の注意	2～3
ディスクについて	4～5
製品内容	6
各部の名称	6～7

準備する

リモコンを使う	7
リモコンの機能一覧	8
ACアダプターを使う	9
車載用シガーソケットアダプターを使う	9
充電する	9
液晶パネルの回転	10
車載用バッグを使う	10

DVDを見る

設定画面にて各パラメータの設定を行います	11
一般設定、オーディオ、音声設定、映像設定、環境設定	11
DVDを再生する	12
基本操作	12
ディスクメッセージ	12

WifiCastを楽しむ



WifiCast機能	13
WifiCast機能特徴	13
Wifi接続方法	14
Wifiダイレクト接続(P2P)	14
ブリッジ接続(無線ルーターアクセスポイント経由)	14
ご使用になるスマートフォンと接続のまとめ	15
WifiCast起動画面	16
WifiCast起動時	16
WifiCast起動完了画面	16
WiFiのスマートフォンと接続の設定	17
Wifiダイレクト接続とブリッジ接続準備を行うの設定	17
ブリッジ接続を行う時の設定	17
操作方法について	19
操作方法1:iOS系Airplayミラーリング機能を使用	19
操作方法2:Android系 Miracast機能を使用	19
操作方法3:DLNA機能を用いて、再生を行います、 「WEBブラウザ」と「iMediaShare」を使用	20
①:「WEBブラウザ」を用いてDLNA再生を行う	20
②:「iMediaShare」を用いてDLNA再生を行う	20

外部端子










イヤホンを使用する	21
テレビやモニターとつなぐ	21
USB端子を使用する	22
SD/MMC スロットを使用する	22








その他








故障かな?と思ったら	23
お手入れについて	23
主な仕様、製品の廃棄について	24

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■本体、電源コードについて










 警告	 コンセントを抜く	火災・感電の原因となりますので、本体や電源コードが異常なとき(煙が出ている・異常に熱い・変なにおいがする)は、ただちにご使用をやめて、電源コードをコンセントから抜いてください。
	 分解禁止	火災や感電の原因となりますので、絶対に分解や改造等を行わないでください。
	 禁止	火災や感電の原因となりますので、本体内部に水や異物が入ったときは、ただちにご使用を中止し、電源コードをコンセントから抜いてください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
		火災や感電の原因となりますので、電源プラグはコンセントの根元までしっかり差し込んでください。また、電源プラグに濡れた手で触れないでください。
	 コンセントを抜く	ケガや感電の原因となりますので、お手入れの際は必ず電源コードを抜いてから行ってください。また、雷が鳴っているときは、本体・電源コードに触れないでください。落雷すると、感電する恐れがあります。
	 コンセントを抜く	火災や感電の原因となりますので、本製品が破損した場合は、そのままご使用にならず、電源コードをコンセントから抜いてください。
	 注意	本製品を指定された、電源電圧以外でご使用にならないでください。指定以外の電源電圧で使用すると、火災・感電・故障の原因になります。
	 禁止	本製品を水で濡らしたり、水滴のかかる場所に置かないでください。海岸や川岸などの水辺や雨天・降雪時の窓辺でのご使用や設置にはご注意ください。また、風呂場や厨房・サウナなど高温多湿な場所ではご使用にならないでください。内部に水が入ると火災・感電・故障の原因になります。

 注意	 禁止	本体を傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。本体が落下して、破損やケガをする原因になります。
	 禁止	本体の内部に異物を入れないでください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。また、本製品を乳幼児には触れさせないでください。故障や火災・感電の原因になります。
	 禁止	本体を持ち運ぶときは、過度の衝撃や振動を与えないでください。故障や破損の原因になります。
	 禁止	電源コードを傷つけたり、破損・切断・加工をしないでください。また、電源コードを束ねたり、延長・固定・タコ足配線で使用しないでください。発熱などにより、火災・故障の原因になります。電源コードが傷ついている場合は、ただちにご使用をやめてください。火災や感電の原因になります。
	 コンセントを抜く	本製品を移動させるときは、ディスクを取り出し、電源コードをコンセントから抜いてください。また、長期の外出をするときや長期間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。火災などの原因になります。
	 注意	リモコンの電池は極性の向きを正しく入れてください。誤って入れると、破裂、液漏れの原因になります。また、電池を加熱・分解すると破裂する危険があります。





 注意	 禁止	本製品の通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所に設置しないでください。閉めきった車内や、直射日光に当たる場所に設置、放置しないでください。本体内部が高温になり故障の原因となります。
	 禁止	走行中、運転されている方は危険ですので、絶対に本製品の操作等をしないでください。
	 禁止	通電中の本機や電源コードに長時間触れないでください。長時間皮膚が触れたままになると、低温やけどの原因となることがあります。
	 禁止	本機や電源コードを、布や布団などでおおった状態で使用しないでください。熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。
	 禁止	本体内部の部品をさわらないでください。ケガの原因になることがあります。また、高温になった部品にさわるとやけどの原因となることがあります。ケースなどの外装部品が破損しても本体内部の部品には触れないでください。高電圧部品により感電することがあります。
	 分解禁止	分解や改造をしないでください。火災や感電の原因となります。点検や修理は、お買い上げ店、または弊社サポートセンターにご相談ください。

■内蔵のバッテリーパックについて

⚠ 警告

 禁止	バッテリーパックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用、放置しないでください。バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。	 禁止	バッテリーパックを火の中に入れて、加熱しないでください。バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。なお、水に濡れた場合でも加熱用機器などで強制的に乾燥させないでください。
 分解禁止	バッテリーパックを分解・改造・修理しないでください。バッテリーパックでの火災・感電の原因となります。	 禁止	バッテリーパックの周りにコップや花瓶など、液体の入った容器を置かないでください。液体がこぼれて濡れると発熱・破裂・発火の原因となります。
 禁止	バッテリーパックを水や汗・海水などで濡らさないでください。バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。	 禁止	バッテリーパックを屋外や浴室など、水がかかる場所に置かないこと。濡れると発熱・破裂・発火の原因となります。
 禁止	バッテリーパックの端子を針金などの金属で接続しないでください。バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。	 禁止	バッテリーパックを落としたり強い衝撃を与えないでください。バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。
 禁止	バッテリーパックを金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり保管しないでください。バッテリーパックがショート状態となり、発熱・破裂・発火したり、ネックレスやヘアピンなどが発熱する原因となります。	 禁止	バッテリーパックは付属または指定のバッテリーパックを使用してください。また、バッテリーパックは本製品に使用してください。バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。
 禁止	濡れたバッテリーパックを充電しないでください。発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合は、ただちに本体の電源を切るか、バッテリーパックを外してください。	 禁止	引火ガスが発生する場所で使用しないでください。ガスに引火し、火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火ガスが発生する場所では本体の電源を切り、充電もしないでください。
 禁止	所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。バッテリーパックが発熱・破裂・発火する可能性があります。	 注意	バッテリーパック内部から出た液体が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、眼科の医師の治療を受けてください。そのままにしておくと、目に障害を与える原因となります。
 注意	本体・バッテリーパック・ACアダプターに発煙・異臭などの異常が発生したり、破損した時は、すぐに次の作業を行ってください。 1.使用中(充電中を含む)であれば、ACアダプターを家庭用交流100Vコンセントから抜いてください。 2.冷えた事を確認し、本体の電源を切り、バッテリーパックを取り外してください。そのまま使用(充電)すると、バッテリーパックが発熱・破裂・発火したり、本体が発熱する原因となります。		

⚠ 注意

 禁止	本体・バッテリーパックを直射日光の強いところや炎天下の車内など、バッテリーパックが高い温度になるところで使用、放置しないでください。バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。	 禁止	バッテリーパックを幼児の手の届く場所には置かないでください。ケガなどの原因となります。また、幼児が誤って飲み込むと、窒息の恐れがあります。
 分解禁止	本体とバッテリーパックとの間に水などの液体・金属片・燃やしやすいものなど、異物を入れないでください。火災・感電・故障原因となります。	 禁止	汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。発熱・故障の原因となる場合があります。

ディスクについて

●再生できるディスクについて

ディスクの種類

- 市販/レンタルディスク
- 記録ディスク
- DVD-VIDEO
- DVD-R/-RW(ファイナライズ済ディスク)
- DVD+R/+RW(ファイナライズ済ディスク)
- ビデオCD/音楽用CD
- CD-R/-RW

●CD/DVDについてのご注意

本機は以下のフォーマットで記録したCD-ROM/CD-R/CD-RWを再生できます。

- 音楽用フォーマット
- ビデオCDフォーマット
- ISO9660 レベル1/Joliet準拠のMP3音声トラック
- JPEG画像ファイル

本機は以下のフォーマットで記録したDVD-ROM/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWを再生できます。

- DVD-VIDEO
- DVD-VR
- UDF(ユニバーサルディスクフォーマット)準拠のMP3音声トラック、JPEG画像ファイル

本機は録画したデジタル放送の番組を再生できる、CPRM^{*}に対応しています。

- DVDに記録した地上デジタル放送やBSデジタル放送は、著作権保護のためCPRM対応プレーヤーでなければ再生できません。

^{*}CPRM(Content Protection for Recordable Media)とは、録画回数に制限がある番組に対する著作権保護技術です。

●再生できないディスクについて

本機では以下のディスクなどを再生することはできません。

- Blu-rayディスク
- AVCHD記録ディスク
- HD DVD
- DVD-RAM/DVD+R DL/DVD-R DL
- フォトCDフォーマットで記録したCD-ROM
- CD-EXTRAのデータ部分
- DVDオーディオ
- MP3/JPEG画像を含まないデータDVDおよびデータCD
- スーパーオーディオCDのHD(ハイデンシティ)レイヤー
- このページで記載のフォーマット以外で記録したCD-ROM/CD-R/CD-RW

次のようなディスクも再生できません。

- 本機では再生できないリージョンコード(地域番号)の市販のDVD
- 円形以外の特殊な形状(カード型・ハート型など)をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出たり、はがした痕のあるディスク
- 傷の多いディスク

●再生時のご注意

記録済みのCD-R/-RW・DVD-R/-RW・DVD+R/+RWは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、CD/DVD書き込みソフトの特性が原因で再生できないものがあります。

データ再生に関しては、エンコード方法などによって再生できないものもあります。

記録型DVDの記録終了時に終了情報を記録する「ファイナライズ」作業を行っていないディスクは再生できません。(詳しくはレコーダー等の取扱説明書をお読みください)

記録型メディアによっては、適切にファイナライズ作業が行われていても本機のいくつかの再生機能が使えなかったり、ディスクが正常に再生できない場合があります。また、バケットライト方式およびマルチセッションで作成されたデータCD/データDVDには、再生できないものがあります。

本製品はコンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものがあり、本製品では再生できない場合があります。

DVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせたDual Discの音楽専用面は、コンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

Blu-ray/DVDハイブリッドディスクは、記録方式が従来のDVD規格とは異なるため、本製品での再生は保証いたしません。

●DVD・ビデオCD再生時の操作について

DVD・ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態があらかじめ決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属する取扱説明書も必ずご覧ください。

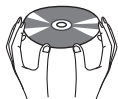
●リージョンコード(地域番号)について

リージョンコードは著作権保護を目的に設けられた制度です。市販のDVDビデオのパッケージには、販売地域によって、リージョンコードが表示されています。地域番号に「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。



●ディスクの取扱いについて

- 再生面に手を触れないように持ちます。



- 直射日光が当たるところなど、温度の高いところ、湿度の高いところには置かないでください。
- ケースに入れて保管してください。
- 指紋やほこりなどによるディスクの汚れは、映像・音声の乱れの原因となります。取扱いには十分ご注意ください。
- ディスクのお手入れは、ディスクの取扱説明書等をご覧ください。
- ディスクを絶対に曲げないでください。破損や変形の原因となり、再生できなくなる場合があります。



Wifiに関するご注意

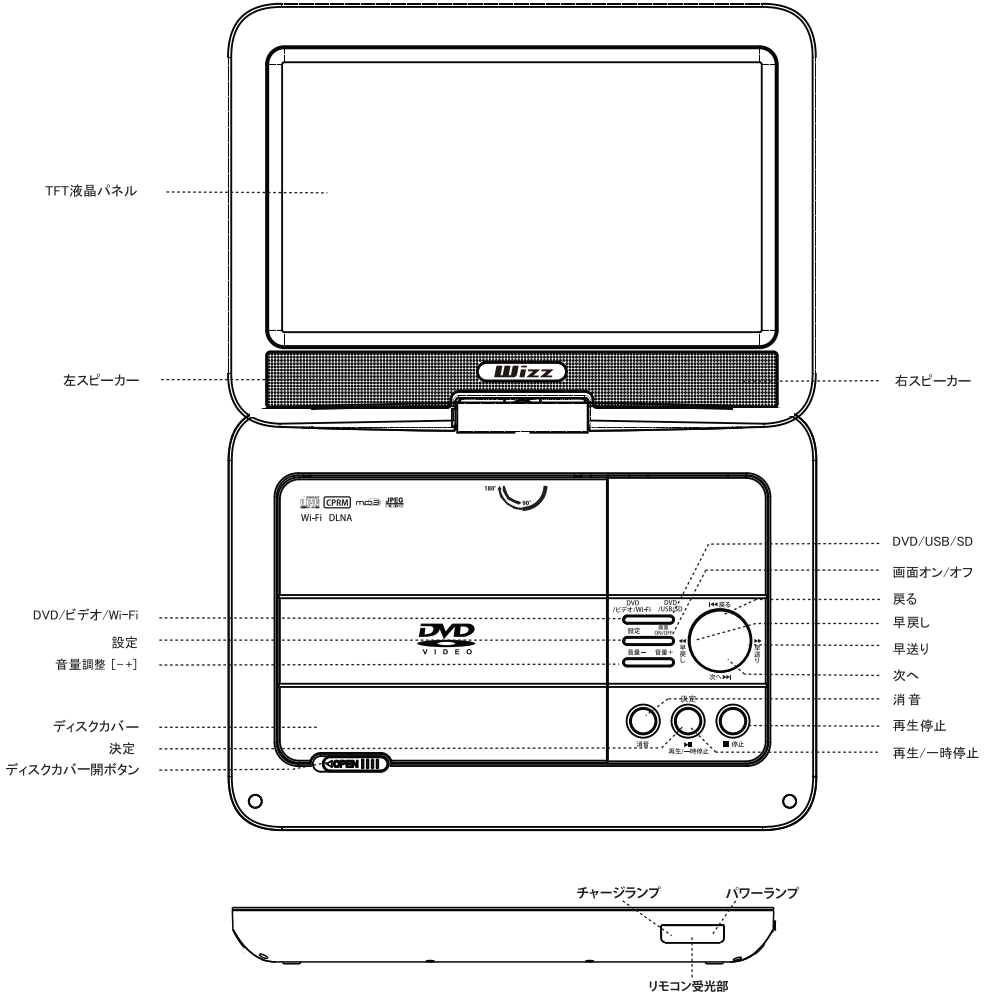
本機はスマートフォンからのWifi伝送を受け、ディスプレイに表示やストリーム再生を行うことが可能です。Wifiについては、ご使用になる環境等についてご注意ください。詳細はP13頁をご参照ください。

製品内容

- ・ DVDプレーヤー本体
- ・ AC電源アダプター
- ・ AVケーブル
- ・ 取扱説明書／保証書(本書)
- ・ リモコン(試供品) 3V電池 “CR2025” 内蔵
- ・ 車載用バッグ
- ・ シガーソケットアダプター
- ・ イヤホン

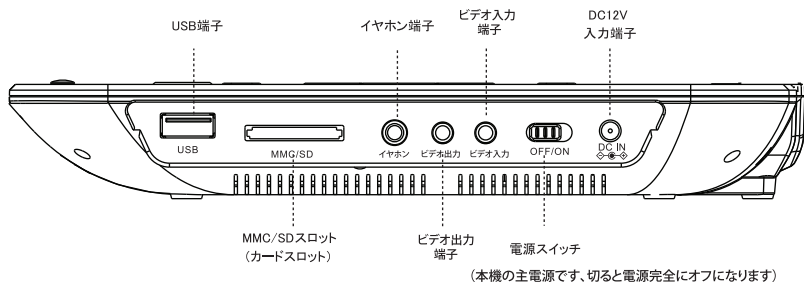
各部の名称

●液晶部、操作部



各部の名称

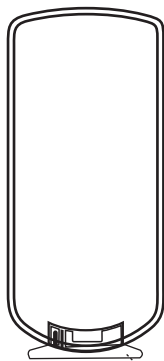
●側面



* 本紙記載の内容にしたがい、正しく接続を行って下さい。

準備する

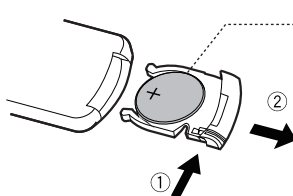
リモコンを使う



..... 購入時使い始めるときは、フィルムを引き抜いてください。

ボタン電池の交換方法

下図のように、①を押したまま、②を引いて、電池トレーを引き出し、ボタン電池の「+」面を上向き、トレーの凹みにきちんと置いてから閉めます。

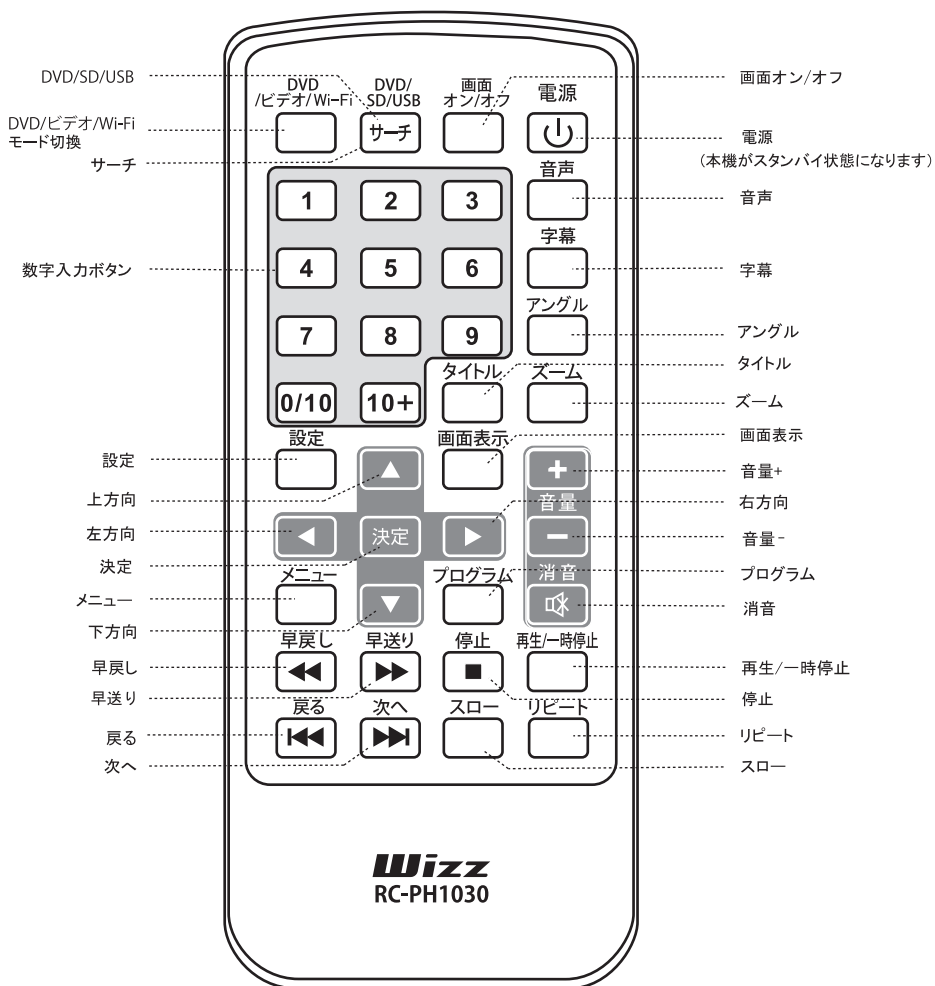


使用するコイン電池は「CR2025」タイプです。
+極、-極の方向を間違いないように収納します。

■ご注意ください

- ・リモコンを使用する場合は、本体の受光部に向けて操作してください。
- ・使用範囲は本体受光部正面から約5m、左右30度以内で使用してください。
※操作可能範囲は使用状況により変わります。
- ・本体受光部に直射日光や強い照明が当たった場合、受光部が破損し、受光できなくなる恐れがありますので、ご注意ください。
- ・リモコンを投げる、落とすなど過度の衝撃を与えないでください。
- ・リモコンを水に濡らしたり、湿度の高いところでは、使用、保管しないでください。
- ・電池を入れ替えたときに、リモコンが正しく動作しないときがあります。このようなときは、電池を一度取り出し、5分以上経ってから再度入れ直してください。
- ・リモコンを分解、改造、修理しないでください。また他の機器には使用しないでください。
- ・本リモコンの電池はリチウムコイン電池を使用しています。
コイン電池はお子様が悪戯したりする危険性がありますので、電池交換時等の取扱いにご注意下さい。

リモコンの機能一覧



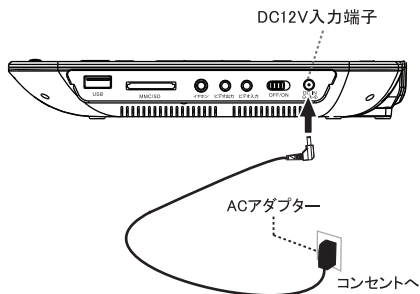
* 各モード選択時に、使用できるボタンが異なります。

ACアダプターを使う

1. 本体のDC12V入力端子にACアダプターの出力ジャックを差し込みます。
2. ACアダプターをコンセントに差し込みます。

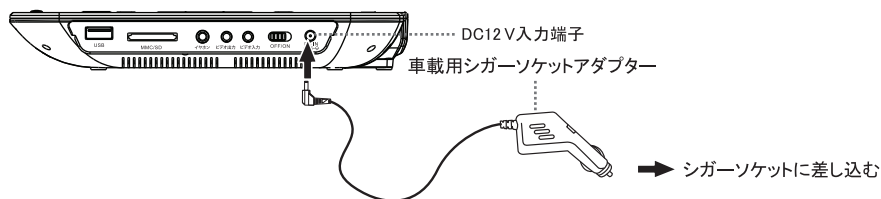
■ご注意ください

- 規格以外のACアダプターを使用された場合、故障や破損の原因となりますので使用しないでください。
- 使用しない時、お手入れや点検を行うときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- テレビと接続する際は、必ず本製品とテレビの電源を切ってから行ってください。
- 端子は奥までしっかり差し込んでください。また端子部に余分な力を加えると、端子部が破損することがありますので扱いにご注意下さい。



車載用シガーソケットアダプターを使う

1. 本体のDC12V入力端子に車載用シガーソケットアダプターの出力ジャックを差し込みます。
2. シガーソケットアダプターを車のシガーソケットに差し込みます。



■ご注意ください

- シガーソケットアダプターは12V車専用です。12V以外のシガーソケットには使用しないでください。
- 本製品を運転中に操作しないでください。事故の原因となります。
- 車内に本体やアダプターを放置しないでください。特に高温になると本体が変形したり、故障の原因となります。

充電する

1. 本体DC12V入力端子にACアダプターの出力ジャックを差し込み、ACアダプターをコンセントに差し込みます。

充電中 … チャージランプ赤色点灯

電源ON … パワーランプ赤色点灯

充電完了 … チャージランプ緑色点灯

電源OFF … パワーランプ赤色消灯

2. 充電時間は電源OFFの状態では4~5時間、電源ONの状態では8~10時間で完了します。

※同様にシガーソケットからも充電することが出来ます。

液晶パネルの回転

液晶画面は開いた状態で、時計回り(右方向)に180度、反時計回り(左方向)に90度回転します。回転させる際は、液晶画面の縁と本体部分をしっかりと丁寧にゆっくり回転させてください。

■ご注意ください

- 液晶パネルを回転させるときにパネル部に触れないようにご注意ください。また、必要以上の力で回転させたり無理にパネル関節部を折り曲げると破損の原因となりますのでご注意ください。
- ※ 液晶パネルは、時計回りに180度以上、反時計回りに90度以上回転しません。無理に力を入れ回転させようとすると本体が破損し、感電やケガをするおそれがありますので、回転させる際は、丁寧にゆっくりと行ってください。

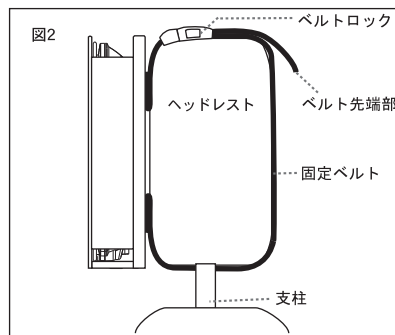
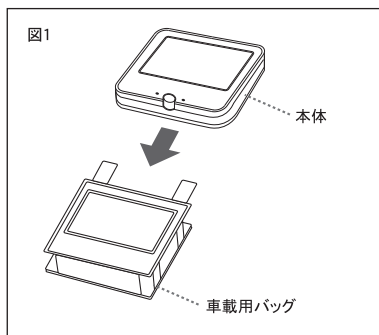
車載用バッグを使う

車載用バッグを使って自動車のヘッドレストに装着することができます。

- 本体の液晶パネルを時計回りにゆっくり180度回転させます。
- 車載用バッグに収納し、上部を閉め、本体が動かないようにしっかり固定します。(図1)
- ヘッドレストの支柱の内側に固定ベルトをとおし、巻き付けベルトロックが“カチッ”と鳴るまで差し込んでください。ベルト先端部を引っ張り、しっかりと車載用バッグを固定します。(図2)

■ご注意ください

- 車載用バッグは、背もたれとヘッドレスト一体型シートには対応してません。また、車種によっては、構造上取り付け出来ない場合や、取り付けが出来ても安全のため適切でない場合があります。
- 車載専用DVDプレーヤーではありませんので、車内に放置したままにしないでください。
- エアバッグ動作の妨げになる場合、取り付けをしないでください。エアバッグそのものが動作しなかったり、エアバッグ展開時に本体が破損し、ケガなどをするおそれがあります。
- 車載用バッグは時間の経過とともに少しずつベルトが緩む可能性があります。運転前に必ず車載用バッグの取付状況をご確認して頂き、異常がある場合は使用しないでください。事故やケガの原因となります。
- 運転者が走行中にテレビ観賞することは道路交通法で禁じられております。
- 運転に支障をきたす場所や同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは絶対に行わないでください。交通事故やケガの原因となります。

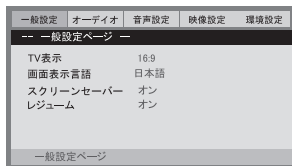


設定画面にて各パラメータの設定を行います

リモコン、または本体の「設定」ボタンを押すと下記の画面が表示されます。

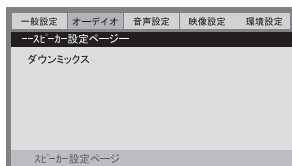
◀▶左右ボタンで「一般設定」「オーディオ」「音声設定」「映像設定」「環境設定」を選択し設定を行います。

●一般設定



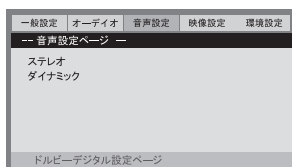
- TV表示（画面のサイズや比率の設定を行います）
 - 1.4：3/PS（バンスキャン）映像の左右をカットします
 - 2.4：3/LB（レターボックス）画面の上下をカットします
 - 3.16：9（ワイド）通常の画面設定です
- 画面表示言語（設定画面の言語の設定を行います）
 - 1.英語
 - 2.日本語
- スクリーンセーバー
 - 1.オン
 - 2.オフ
- レジューム（再生中断された時点から再生させる機能設定を行います）
 - 1.オン
 - 2.オフ

●オーディオ



- ダウンミックス（ご使用のスピーカー環境に合わせた出力方式の設定を行います）
 - 1.LT/RT
 - 2.ステレオ

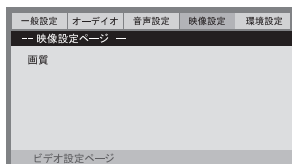
●音声設定



再生音声出力モードの設定をおこないます。

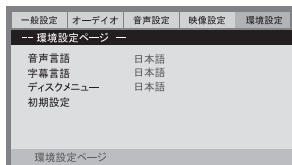
- ステレオ
 - 1.ステレオ
 - 2.左モノラル
 - 3.右モノラル
 - 4.ミックスモノラル
- ダイナミック
 - 1.FULL
 - 2.3/4
 - 3.1/2
 - 4.1/4
 - 5.OFF

●映像設定



- 画質（画質の調整を行います）
 - 1.シャープネス（高/中/低）
 - 2.明るさ（-16～+16）
 - 3.コントラスト（-16～+16）

●環境設定



- 音声言語（再生時の音声の設定を行います）
 - 1.英語
 - 2.日本語
- 字幕設定（再生時の字幕の設定を行います）
 - 1.英語
 - 2.日本語
- ディスクメニュー（ディスクのメニュー画面の言語の設定を行います）
 - 1.英語
 - 2.日本語
- 初期設定（全ての設定を工場出荷時の状態に戻ります。）

リセット

■ご注意ください

- 各設定項目に対してみどりのカーソルがある項目が選択されている項目です。茶色が現在決定している項目です。設定項目を確定する場合は決定ボタンを押してください。
- 初期設定については本機のシステム上重要な設定になります。DVD等の再生を停止した状態で行ってください。
- 本設定はDVDモードに置いて、設定が可能です。尚AVINモードおよびWifiモードの画質設定等を行いたい場合でもDVDモードに戻ってから設定を行ってください。

DVDを再生する

●基本操作

- 1) 本体の電源を入れます。
- 2) 本体の“OPEN”ボタンを押して、ディスクカバーを開けます。
- 3) ディスクのラベル印刷面を上にして、ディスクホルダー中央部にディスクをやさしく入れ、この時、“カチッ”という音がしたのを確認してください。
- 4) ディスクカバーを閉じます。
※ ディスク面が間違っていたり、トレイの凹みにきちんと置いていない場合は、“ディスク無し”と表示されます。
※ ディスクによっては、自動的に再生しないものや、メニュー画面が再生されないものがあります。
- 5) OK(決定)ボタン、または再生ボタン(▶)を押すと再生が始まります。ディスクによっては自動的に再生が始まります。

画面にDVDメニューが表示された場合、本体およびリモコンの矢印キーで、お好みのメニューに合わせ、決定ボタンを押します。



■ご注意ください

- ディスクをセットする際、ホルダー中央部に無理な力を掛けると破損する恐れがあります。
- 電源コードは、電源を切った状態で取り外してください。
- ディスク回転中に突然電源を切ると本体内部の破損の原因となりますので、十分ご注意ください。
- 操作中、“○”マークの表示が画面に出る場合は、本製品またはディスク側で操作が禁止されていることを意味します。
- ディスクの再生中にメニュー画面が表示されたり、操作内容が表示されたときは、表示の指示に従って操作してください。
- ご購入後、最初に使用する時はDVDローダー部に取り付けられている保護紙を取り外してください。

●ディスクメッセージ

下記メッセージが画面上に表示された場合は、再生ディスクとフォーマット形式が異なることが予想されます。

□ リージョンエラー

本機が再生できる地域(リージョン)“2”と違うディスクを再生しようとした場合に表示されます。
リージョンコード“2”以外のディスクは再生できません。

■ご注意ください

- DVDディスクによっては、再生中、操作制限があったり、再生できないディスクもあります。
- 本機は全てのディスクの再生能力に対して責任を負いません。記録条件によって再生できない場合があるため、本機の不良ではございません。再生されるディスクの説明書等をご覧ください。

WifiCast機能

- ・本機の付随機能として搭載している機能です。Wifi無線通信機能を用いています。
- ・アンドロイド系、iOS (iPhone、iPod) 系等のモバイル装置に収納されている映像や音声データをWifi無線通信機能を用いて、本機伝送します。そして本機のディスプレイに、表示再生することができる機能です。
- ・無線ルーターアクセスポイントを経由し、DLNA機能のストリーム再生技術を用いて、スマートフォン以外に他のストレージに保管されている映像や音声データを表示再生することが可能です。

WifiCast機能特徴

- 1: アンドロイド系やiOS系等のモバイル装置の両方を、Wifi無線通信機能を使用することにより使用が可能です。但し、ご使用になるスマートフォンの種類により操作方法が異なります。特にアンドロイド系のスマートフォンは、色々なメーカーから提供されているので、設定や操作は、ご使用になるスマートフォンの取扱説明書を参照下さい。
- 2: スマートフォンから本機へのWifi接続方法は、Wifiダイレクト接続 (P2P) とブリッジ接続 (無線ルーターアクセスポイント経由) の2種類があります。ご使用目的から接続方法をお選び頂けますが、ブリッジ接続は無線ルーター等のアクセスポイントが本機以外に必要です。
- 3: 基本的な機能としては、ミラーリング (スマートフォンからデータを、本機にWifi転送するディスプレイ伝送) とDLNA (ストリーム再生機能) を行うことが可能です。

スマートフォンと本機を組み合わせ、Wifi接続し、各種の再生をお楽しみいただけますが、下記にご使用に関する重要お知らせを記載します。下記の内容をご理解の上、お楽しみください。

■ Wifiに関するご注意

1. Wifiですので、ご使用いただく電波環境に依存します。WifiやBluetoothがたくさん使用されていたり、電子レンジ等が動作するとWifiの2.4GHzの周波数帯域が無線雑音します。このような状態で、転送レートが高い動画を再生すると、映像や音声途切れたりする場合があります。この現象は、Wifi無線環境の問題ですので、本機の不具合ではありません。無線環境の良い場所でご使用し、お楽しみください。
2. できるだけ動画等の再生がスムーズに行うためには、再生する動画等のWifiの転送レートを下げてご使用下さい。本機は、スマートフォンからの動画等のデータ転送を受け、再生を行います。Wifiの転送レートが高いと上記1.の無線環境に影響されます。転送レートを下げると無線環境の影響を受けにくくなります。画質とご使用になる環境に合わせて、ご使用ください。同じ再生時間で、ファイルサイズが小さいデータは、転送レートが低くなります。
3. 本機は、“IEEE 802.11a/b/g/n”のWifiの規格に適用しています。使用する帯域は2.4GHzと5.0GHzを自動切換して使用しますが、ご使用になるスマートフォンやルーターの性能により使用する周波数帯域を自動的に切換を行います。詳しくは、スマートフォンはルーターの取扱説明書をご参照下さい。
4. 本機にて再生を行っている時、スマートフォンの画面には表示されない等の状態になる場合があります。この状態でのスマートフォンの表示は、本機の影響ではなく、各スマートフォンの仕様です。また音量の調整等もスマートフォン側からできる場合がありますが、これもスマートフォンの仕様となります。
5. スマートフォンの設定や機種によっては、正常に使用できない場合があります。スマートフォンの取扱説明書をご確認下さい。
6. 本取扱説明書では、一般的なスマートフォン (アンドロイド系、iOS系) の接続方法や操作方法をご説明します。スマートフォンはたくさんの会社様からたくさんの種類が発売されていますので、スマートフォンの本書に関する機能は、ご使用になるスマートフォンの取扱説明書をご確認下さい。
7. 本製品にWifi接続ができるスマートフォンは、Wifiダイレクト接続、ブリッジ接続共に1台です。そのため違うスマートフォンを本機でご使用いただく場合は、先に使用していたスマートフォンのWifi接続を本機から外したり、WifiOFFしてからご使用ください。
8. 本機器はWifi機器ですので、MHL、HDMI、Bluetooth等の他の信号は、受信できません。
9. 長時間Wifiモードでご使用すると、本機のWifi受信部が実装されている部分のボトムカバーが熱くなりますが、不具合や故障ではありません。*ボトムカバーのレーティングシートの下の部分です。
10. iOSやアンドロイドのスマートフォンのOSVerにより動作が不安定になるので、ご使用のスマートフォンのOSVerにご注意ください。

スマートフォンから本機への接続方法を以下ご説明します。(2種類あります)

● **Wifiダイレクト接続 (P2P)** 下記図1で参照ください。

- 最もベーシックな接続方法です。
 - スマートフォンと本機がWifiをダイレクトに接続する方法です。一旦スマートフォンと本機がWifi接続されると、Wifi接続が占有されます。
 - 一旦設定を完了すると、スマートフォンの機能により、自動的に接続されます。しかし、本接続はスマートフォンと本機の1対1接続ですので他のスマートフォンでご使用になる場合は、これまで使用していたスマートフォンのWifi接続先を本機から外すことや、Wifi機能をOFFする必要があります。
 - スマートフォンが3Gや/LTEの電話回線で接続されている場合は、インターネット等をご使用になりながら、スマートフォン経由で本機にデータを転送することが可能です。iOS系については、AIRPLAY機能を用います。アンドロイド系については、各スマートフォンをご確認下さい。
- ただし、スマートフォン経由してインターネット等からデータを本機に転送するため、スマートフォンのデータ転送の能力に依存します。そのため、動画等は、データの容量が大きく、転送レートが上がりますので、正常に動作しない現象が発生する場合があります。これはスマートフォンの性能により本機の不具合ではありません。



図1: Wifiダイレクト接続

● **ブリッジ接続 (無線ルーターアクセスポイント経由)** 下記図2で参照ください。

- 本機をアクセスポイント (ルーター等) 経由し、スマートフォンと本機をブリッジ接続します。スマートフォンに収納されているデータを再生可能であり、かつアクセスポイント下の共有サーバー等に保管されているデータを再生することが可能です。共有DLNAサーバー等のスマートフォン以外に保管されているデータを再生するためには、別途アプリケーションソフト「iMediaShare」を使用する必要があります。
- ブリッジ接続を行う場合には、スマートフォンに実装されている「WEBブラウザ」を用いて設定を行います。「WEBブラウザ」の操作方法は、各スマートフォンの取扱説明書をご参照ください。IPアドレスは、” <http://192.168.59.254/remote> ”を用いて設定します。
- 一般的には、無線ルーターアクセスポイントは、インターネットに接続されていますが、「iMediaShare」を使用してインターネットへの接続はできません。ミラーリンク機能の場合にはご使用方法により接続できます。

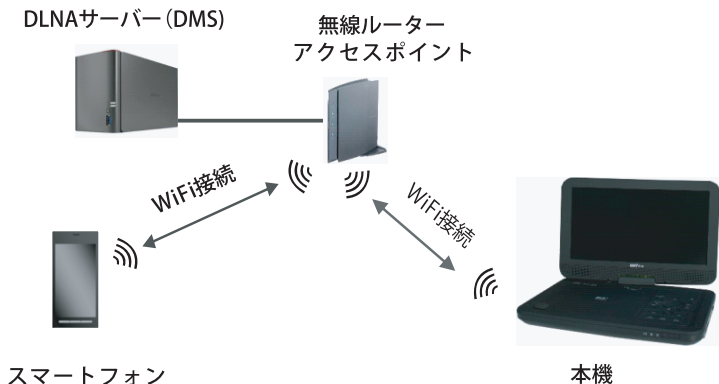


図2: ブリッジ接続

ご使用になるスマートフォンと接続方法のまとめ

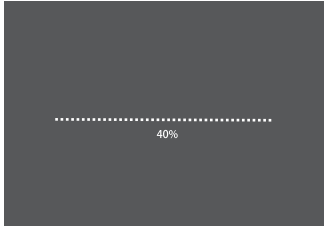
ご使用するスマートフォンとWifiの接続方法の組み合わせを表にまとめると、以下 6 種類使用状態になります。

Wifi接続方法 使用する スマートフォンの種類	Wifiダイレクト接続 (P2P) ・設定方法には17頁の Wifiダイレクト接続とブリッジ接続 準備を行う時の設定にご参照 ・接続のイメージには 14頁のWifi接続方法図 1 参照。	ブリッジ接続 (無線ルーターアクセスポイント経由) ・設定方法には17頁の ブリッジ接続を行う時の設定にご参照 ・接続のイメージには 14頁のWifi接続方法図 2 参照。
iOS系 (iPhone/iPod) Airplayミラーリング機能を使用 (iOS6.0以上でiPhone4S以上) 操作方法 1 に参照	iOS系Airplay機能を用いて、 Wifiダイレクト接続[実現できる機能] ①:スマートフォンにすでに収納されて いる映像、動画、音声を本機にデータ を転送し、再生を行います。 ②: 3 G/LTE回線を併用しインターネット に接続し、スマートフォン経由でデータ を伝送し、再生を行います。 *スマートフォンを経由して、データを 本機に転送を行うため、スマートフォ ンのデータ転送の性能に依存します。そ のためインターネットの動画等の転送レ ートの高いデータは、正常に再生できな い場合があります。	iOS系Airplay機能を用いて、Wifiブリ ジ接続[実現できる機能] 左①、②と同じ内容が実現可能です。
Android系 Miracast機能を使用 (Android4.2以上) 操作方法2に参照 * Android系スマートフォンが Miracast機能に対応している 必要があります。	Android系のMiracast機能を用いて、 Wifiダイレクト接続[実現できる機能] ①:スマートフォンにすでに収納されて いる映像、動画、音声を本機にデータ を転送し、再生を行います。 ②: 3 G/LTE回線を併用しインターネット に接続し、スマートフォン経由でデータ を伝送し、再生を行います。 *スマートフォンを経由して、データを 本機に転送を行うため、スマートフォ ンのデータ転送の性能に依存します。そ のためインターネットの動画等の転送 レートの高いデータは、正常に再生で きない場合があります。	Android系Miracast機能を用いて、 Wifiブリッジ接続[実現できる機能] 左①、②と同じ内容が実現可能です。
DLNA機能を用いる (iOS系とAndroid系共通) ①「WEBブラウザ」を用いる。 ②「iMediaShare lite」 *アプリケーションソフトをインターネット からダウンロードします。 操作方法 3 に参照	DLNA機能を用いて、Wifiダイレクト接続。 [実現できる機能] ①スマートフォンにすでに収納されて いる映像、動画、音声を本機にデータ を転送し、ストリーム再生を行います。	DLNA機能を用いて、Wifiブリッジ接続 [実現できる機能] ①左①を実現可能です。 ②アクセスポイントに共用接続されて いるDLNAサーバーに収納されている データをストリーム再生を行います。

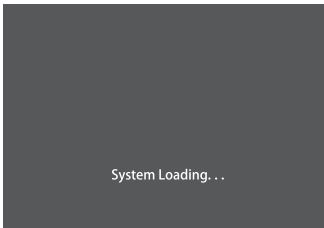
WifiCast起動画面

ご使用のスマートフォンを本機にWifi接続するために、WifiモードのWifiCast起動画面の内容をご説明します。

● WifiCast起動時



本体及びリモコンの「DVD/ビデオ/Wi-Fi」ボタンでWi-Fiを選択します。左記のような表示になりWifiモードの起動が開始します。



※本機はポータブルDVDプレーヤですので、内蔵しているバッテリーの消費電力を抑える必要があります。DVDモード、ビデオモードの時には、WifiCast部は、スリープ状態になっています。そのため、モードを切り替えた場合は、必ず、Wifiモードが起動する動作を行います。

● WifiCast起動完了画面



- 起動が完了すると、「Wizz」ロゴ画面表示されます。また、画面中央にWifiのアクセスポイントIDとIPアドレスを表示します。本機の操作を行う上で、この2個が重要な設定値です。
- ID:HL-LinkXXX
本製品のSSIDです。本機のWifiのアクセスポイントです。スマートフォンにて、Wifiのアクセスポイントを、このIDに設定します。
- IP:192.168.59.254
本製品環境設定及びアクセスポイント(ルーター経由)「WEBブラウザ」にて設定するためのIPアドレスです。スマートフォンにて、アクセスポイント経由でブリッジ接続するために使用するためのIPアドレスです。
- PBC/Pin code:XXXXXXXX
表示のみで、使用しません。

Wifiのスマートフォンと接続の設定

● Wifiダイレクト接続とブリッジ接続準備を行う時の設定

スマートフォンに対して、Wifiを接続します。

スマートフォンのWi-Fi設定画面において、WifiCast起動完了画面に表示されている本機のSSID (HL-LinkXXX) を選び接続します。

本設定は、Wifiダイレクト接続とブリッジ接続準備両方の設定に必要です。

iOS系を例における設定



Wi-Fiネットワーク上に接続する
スマホ画面「設定」アイコンをタップし。

Wi-Fiの設定を「ON」にします。

ONにすると接続できるネットワークが表示されるので

HL-LinkXXX (本製品SSID) を選択します。

これでスマートフォンに対するWifiを接続する設定は、完了します。

・左記は、iPhoneにおけるWifi設定画面ですが、アンドロイド系のスマートフォンの場合も同様に設定を実施下さい。

・各スマートフォンにおけるWifiの設定方法は、各スマートフォンによって異なります各スマートフォンの取扱説明書を参照下さい。

ここまでWifi接続を設定が完了します。

・iOS系のWifiダイレクト接続での使用方法は、19頁の操作方法 1 を参照下さい。

・アンドロイド系のWifiダイレクト接続での使用方法は、19頁の操作方法 2 を参照下さい。

● ブリッジ接続を行う時の設定

ブリッジ接続を行う場合は、上記の接続に加えて、下記の設定を行う必要があります。Wifiダイレクト接続でご使用の場合は、以下の設定は必要ありません。

ブリッジ接続を行い、操作を行う場合は、中継する無線ルーターアクセスポイントの設定を行う必要があります。

①:スマートフォンの「WEB ブラウザ」を開きます。

②:ブラウザのアドレス欄に 下記のアドレスを入力し開きます、以下AirFun画面になります。

<http://192.168.59.254/remote>

画面 1



・左記AirFun画面です。指差し先「設定」ボタンです。

③:アクセスポイントの設定を行います。

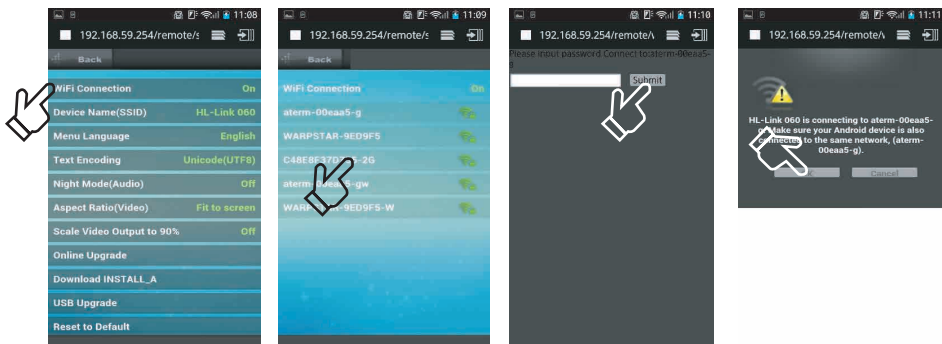
- 画面 1 :AirFunメニュー画面にて「設定」アイコンをタップして設定画面に移行します。(17頁画面1参照)
- 画面 2 :「設定コントロール画面」が表示されますので「WIFI Connection」ボタンをタップします。
- 画面 3 :WIFI 設定画面で環境内 WIFI 無線ルーターアクセスポイントのネットワークのSSIDを検索します。
- 画面 4 :接続したい SSID を選択した後、「Password」欄に 接続用パスワードを入力し「submit」ボタンをタップします。
このパスワードは、接続を行いたい、無線ルーターアクセスポイントが所有しているパスワードです。
無線ルーターを確認して、設定してください。
- 画面 5 :「OK」ボタンをタップし設定完了になります。

画面 2

画面 3

画面 4

画面 5



WEBブラウザからブリッジ接続が完了すると、MiraCast起動完了画面が、変更されたIPアドレスと無線ルーターアクセスポイントのSSIDを表示します。



IPアドレスは、設定値が変更されて表示されます。
IP:XXX.XXX.XXX.XXX (xxxの部分は数字が表示されます)
*新しいIPアドレスが、設定されます。今後は、この新しく設定されたIPアドレスを使用します。

DLNA側右下には今回設定した無線ルーターアクセスポイントのSSIDが表示されます。

④:スマートフォンへの新しいIPアドレスの設定

ブリッジ接続で使用するには、スマートフォンに対して、DLNA機能を行うためのスマートフォンへのIPアドレスで変更が必要です。再度「WEB ブラウザ」を開きます。



ブラウザのアドレス欄(上記④で設定された新しいIPアドレス)に画面表示しているIPアドレスを入力します。

<http://XXX.XXX.XXX.XXX/remote>

AirFunアプリメニュー画面を表示れます。

ブラウザの画面のアドレス欄には「<http://XXX.XXX.XXX.XXX/remote>」が表示されます。

画面6

- 上記お客様のネットワーク環境内のIPを表示されたAirFun画面です。

操作方法について

これまでに、Wifiダイレクト接続、ブリッジ接続の設定が完了しましたので、実際の再生方法をご説明します。実際の再生もスマートフォンから操作を行い、本機のディスプレイにて再生を行います。音量やMuteの操作だけを本機にて行います。ディスプレイの画質等の設定を行う場合はDVDモードに戻って設定ください。

● 操作方法 1 :iOS系Airplayミラーリング機能を使用

- ・画面 1 :初期画面を表示した状態で下から上にスワイプします。「コントロールセンター」が表示されるので、「AirPlay」をタップします。
 - ・画面 2 : AirPlayの「HL-LinkXXX」を選択します。LinkXXXは、本機のSSIDです。AirPlayミラーリングを「ON」にします。
 - ・画面 3 : iOS系の画面が本機のモニターに表示されます。
- 以降は、スマートフォンに表示されている表示が本機のモニターに表示されます。



● 操作方法 2 :Android系 Miracast機能を使用

アンドロイド系のMiracast機能は、各メーカーの機種により操作がことなりますので、ご使用になるスマートフォンの取扱説明書をご参照下さい。本書では、一般的な操作方法について、ご説明します。

以下ARROWS A 301Fに例として、設定紹介致します。

- ・画面 1 :ホーム画面で→[本体設定]
- ・画面 2 :設定画面で→[Miracast]をタップし、Miracast画面が表示されます。
- ・画面 3 : [Miracast]→画面右上を[ON]
「Miracast」が「OFF」の場合は、「ON」にします。接続するMiracast対応機器が表示されないときは、[ディスプレイを探索]をタップします。検出されたWi-Fi Miracast対応機器をタップ。Miracast接続済みになると表示される。



■ お知らせ

- ・HDCP非対応の機器と接続した場合、映像・音声は正しく出力されません。また、コンテンツによっては、接続中に電話着信があった場合、着信画面が接続した機器にも表示されます。
- ・一部のアプリでは、接続した機器にコンテンツが表示され、本端末で再生などの操作ができます。
- ・コンテンツプロバイダーから外部出力を禁止されていたり、性能上の問題から外部出力が抑止されていたりするものがあります。

● 操作方法3：DLNA機能を用いて、「WEBブラウザ」と「iMediaShare」を使用

DLNA機能を用いて、動画等を再生する方法として、本機では2種類の操作をご紹介します。

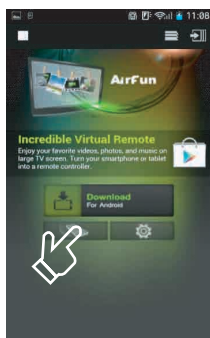
「WEBブラウザ」は、スマートフォンに収納されている場合が多いですが、「iMediaShare」は、フリーのソフトウェアですので、インターネットからダウンロードしてください。

本書では簡単に操作方法をご説明しますので、詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照下さい。また各アプリケーションソフトのVERによっては、多少の操作方法が異なりますので、詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照下さい。

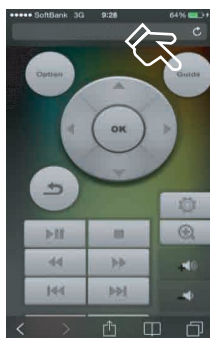
①：「WEBブラウザ」を用いてDLNA再生を行う。

AirFunメニュー画面にて「リモコン」アイコンをタップして、DLNA機能操作画面を開く
リモコン画面の「Guide」ボタンをタップして、本製品の画面に環境内のネットワーク状況が表示されます。
操作のボタンを使用して、共有のDLNAサーバーに収納されている静止画や音楽、映像ファイルをストリーム再生することができます。「WEBブラウザ」の画面の例。

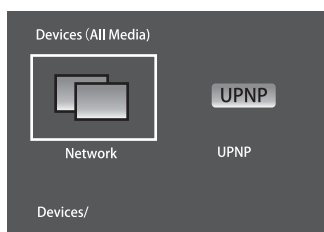
「WEBブラウザ」



「操作画面」



「ネットワーク状況画面」



・左記操作画面の「設定」ボタンには設定変更しないようにお願いします。

②：「iMediaShare」を用いてDLNA再生を行う。

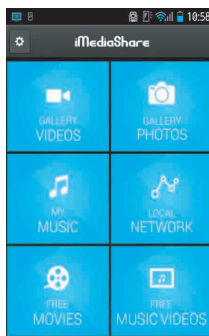
アプリケーションソフト「iMediaShare」は、iOS系ならApp Storeからダウンロードします。

Android系の場合は、Playストアから検索してダウンロードしてください。

スマートフォンにダウンロード後「iMediaShare」を起動します。(通信状況やスマートフォンの状況により時間掛かる場合があります)

以下Android系スマートフォンでの例としてご説明します。iOS系には操作方法異なる場合があります。

「操作画面」



「GALLERY VIDEOS」を選択します。再生する動画を選択します。

出力先を選択する画面で「HL-LinkXXX」を選択すると、本機の画面が表示されます。

環境内ネットワーク上のDLNA対応機器に保存されているファイルには「LOCAL NETWORK」を選択して、表示したいファイルが保存されているDLNA機器を選択してください。

■ご注意ください

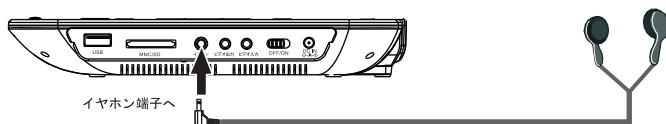
- ・スマートフォンへの操作、設定、アプリケーションのダウンロード本機へのWifi接続を行うことにより、スマートフォンのデータの粉失等については、責任を負いかねます。
- ・ミラーキャスト機能を行うためのフリーソフトウェアは、他にも存在します。お客様の責任において、ソフトウェアをご使用ください。

外部端子

イヤホンを使用する

●接続方法

ミニピンプラグのイヤホンやヘッドホンに対応します。

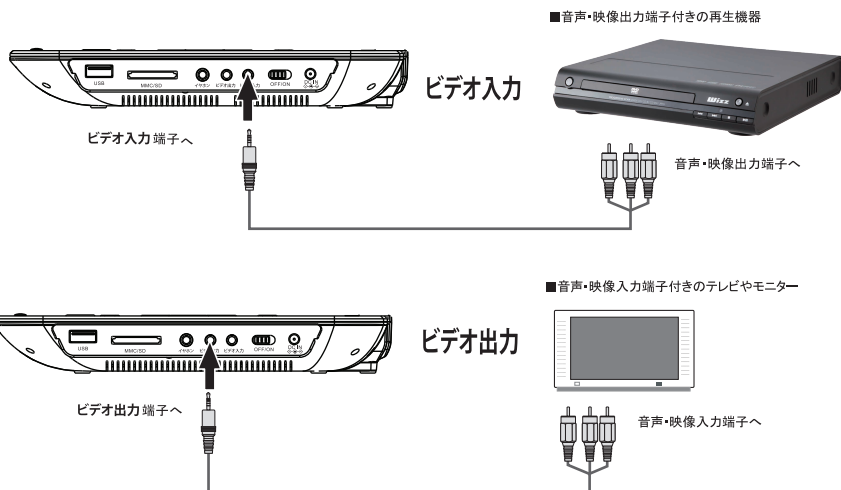


■ご注意ください

- ・お使いになる前に音量を最小にし、徐々に好みの音量に調整してください。また大音量で長時間使用すると聴力に影響を及ぼす恐れがあります。
- ・ビデオ出力端子にAVケーブルを接続している場合は、イヤホン端子に接続後再度音量を調整し、お楽しみ下さい。

テレビやモニターとつなぐ

- 接続方法 (ビデオ入力/ビデオ出力) 付属のAVケーブルを使用して テレビやモニターに音声・映像を入出力することができます。



*ビデオ入力からの信号はビデオ出力端子の出力されません。(ブラック画面です)
DVD再生とスマートフォンの信号は出力されます。

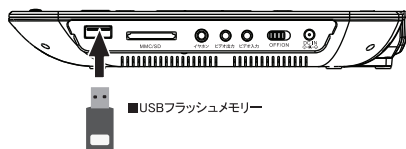
■ご注意ください

- ・テレビと接続する際は、必ず本製品とテレビなどの電源を切ってから行ってください。また接続する機器の取扱説明書をご確認ください。
- ・テレビに接続して本製品を使用する場合、必ず液晶パネルが開いた状態で使用して下さい。
- ・市販のケーブルは端子配置が異なる場合があります。追加でケーブルを購入する場合等販売店や弊社サポートセンターにお問い合わせください。

USB端子を使用する

USB端子を使用して、USBフラッシュメモリーから音声・画像を再生することができます。

●接続方法



- USBフラッシュメモリーからの再生に切り替える
 - 1.USBフラッシュメモリーを差し込みます。
 - 2.「DVD/SD/USB」ボタンを押し、USBに切り替えます。

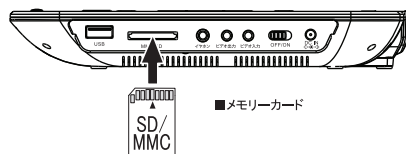
■ USBフラッシュメモリーを取り外す場合は、読み込みをしていない時に抜いて下さい。

- MP3ファイル再生中の場合
「停止」ボタンを押して、再生を停止させてからUSBフラッシュメモリーを取り外します。
- JPEGファイル再生中の場合
「メニュー」ボタンを押して、ファイル一覧画面にしてからUSBフラッシュメモリーを取り外します。

MMC/SDスロットを使用する

MMC/SDスロットを使用して、MMC/SD（以下、メモリーカード）から音声・画像を再生することができます。

●接続方法



- メモリーカードからの再生に切り替える
 - 1.メモリーカードを差し込みます。
 - 2.「DVD/SD/USB」ボタンを押し、カードに切り替えます。

■ メモリーカードを取り外す場合は、読み込みをしていない時に抜いて下さい。

- MP3ファイル再生中の場合
「停止」ボタンを押して、再生を停止させてからメモリーカードを取り外します。
- JPEGファイル再生中の場合
「メニュー」ボタンを押して、ファイル一覧画面にしてからメモリーカードを取り外します。

■ ご注意下さい

- ・ USBフラッシュメモリー、メモリーカードにアクセスしているときは、取り外しを行わないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- ・ 本機に搭載されているUSB端子は、USBフラッシュメモリーのみ対応します。他の機器を接続すると本機や外部機器の故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。
- ・ USBフラッシュメモリーやメモリーカードによっては対応しないものもあります。

故障かな？と思ったら

画面が白黒になる	<ul style="list-style-type: none"> 設定ボタンを押して、「初期設定」の「テレビタイプ」が「自動」か「NTSC」になっているか確認してください。
画面が暗い	<ul style="list-style-type: none"> 設定ボタンを押して、「画面設定」の「明るさ」を調整してください。
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードの接続を確認してください。
再生できない / 画面に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが中に入っているか確認してください。 機器が適切に接続されていることを確認してください。 ディスクの汚れ、傷を確認してください。 テレビの電源、映像入力モードが正しく設定されているか確認してください。 パソコンやレコーダーで記録した記録型のディスクは再生できない場合があります。(→ 4ページ) ディスクのリージョンコードが「2」か確認してください。 結露が考えられます。電源を入れた状態で、数時間待ってから再生してください。 本体が熱を持っている場合は、約30分程度時間をおいてからご使用ください。
画像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが汚れたり、傷ついていないか確認してください。汚れているときはディスクを清掃してください。 本製品が、ビデオレコーダーやケーブルテレビチューナーなどの映像入力端子に接続されていないか確認してください。これらの機器に接続されているとコピーガードが働いて画像が乱れますので、本機をテレビに直接接続してください。
雑音や音声が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> 機器が適切に接続されているか確認してください。 近くに強い磁気を帯びたものがある場合は、離してお使いください。
画面に「不明なディスク」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> 本機に対応しないディスクを再生しようとしていないか確認してください。 パソコンやレコーダーで記録した記録型のディスクは再生できない場合があります。(→ 4ページ) ディスクの汚れ、傷を確認してください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 本機やテレビのボリューム(VOL)、消音機能を確認してください。 適切に接続されているか確認してください。 一時停止、巻き戻し/早送り、スロー、コマ送り実行中は音声が出力されません。
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> 電池の向きを確認してください。 電池が消耗している場合は交換してください。 本機とリモコンの間に障害物がある場合は、取り除いてください。

お手入れについて

● レンズのクリーニング

レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり、画像が乱れる場合があります。このような場合は市販のクリーニングをご使用ください。故障の原因となります。

● 結露

結露が発生した場合、ディスクを本機に挿入すると、ピックアップレンズやディスクに水滴がつくことにより、ディスク信号が読み取れず正常に動作しないことがあります。本機はよく乾燥した状態でお使いください。結露が発生してしまった場合は、本体の電源を入れたまま、最低2時間は乾燥のために放置してください。

● 本体のお手入れ方法

柔らかい布で乾拭きをしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で5~6倍に薄めて布に浸し、よく絞った後に本体を拭きます。その後、必ず乾いた布で再度本体を拭いてください。アルコールやシンナー等が付着すると、印刷や塗装がはげる場合がありますのでご注意ください。お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

各社の商標について

- 「iPhone」「iOS」等は、米国及び、他の国で登録されたApple Incの商標です。その他、他社の登録商標があります。
- 再生するコンテンツやソフトウェアには、ライセンス等が存在する場合があります。利用規約、使用許可、契約条件を確認の上ご使用ください。

主な仕様

商 品 名	10インチポータブルDVDプレーヤー With Wifiレシーバ Wizz WDH-104
パ ネ ル サ イ ズ	10インチワイド
液 晶 解 像 度	1024×600ピクセル
Wi-Fi 仕 様	IEEE802.11a/b/g/n 2.4GHz帯/5.0GHz帯対応 (自動切換) * Wifi受信機能無線技術基準適合)
映 像 信 号 方 式	NTSC
A V 小 型 出 力	1系統
A V 小 型 入 力	1系統
ヘ ッ ド フ ォ ン 出 力	1系統
メ デ ィ ア ス ロ ッ ト	1スロット(SD/MMC)
U S B 端 子	1スロット
再 生 可 能 デ ー タ	MP3/JPEGファイル
電 源 定 格	DC12V/1.5A AC100V 50/60Hz
最 大 消 費 電 力	15W
バ ッ テ リ ー	リチウムイオン
連 続 再 生 時 間 ^{※1}	DVD再生 3.0時間、Wifi使用時間 2.0 時間
充 電 時 間 ^{※1}	約4~5時間
カ ー ア ダ プ タ ー	DC12V ※24V車不可
最 大 外 形 寸 法	縦:200、横:275、高さ:43mm(ディスプレイを閉じた状態)
本 体 質 量	約1.1Kg(バッテリー含む)
リ モ コ ン	専用リモコン「RC-PH1030」使用

※1 連続再生時間および充電時間は、使用状況、使用環境により異なります。また、充電電池の経年劣化により、再生時間が短くなります。
※仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

ご利用上の注意点

長年ご使用の製品点検を

このような事は ありませんか？	・電源コードや電源プラグが異常に熱い。 ・電源コードを動かすと通電したり しなかったりする。 ・製品に触れるとビリビリと電気を感 じる。 ・その他の異常・故障がある。	ご使用を 中止	・故障や事故防止のため、スイッチを 切り、電源プラグを抜いて、必ず 販売店にご相談下さい。
--------------------	--	------------	---

- ・本書の内容の一部または全部を無断転載・転用することを固くお断りします。
- ・本書の内容に関して将来予告なく変更する場合があります。
- ・本書に記載されている会社名・商品名は各社の商標、または登録商標です。
- ・商品のデザイン・仕様・外観・価格は予告なく変更する場合があります。
- ・本書の内容については、万全を期して作成いたしました。万が一、誤りや記載漏れなど、お気付きの点がございましたら、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

製品の廃棄について

- 製品のご使用が終了し、製品を廃棄する場合は、燃えないゴミや資源ゴミ、粗大ゴミ、小型家電回収等各自自治体によって取り扱いが異なりますので、お住まいの自治体の指示に従ってください。

Wizz